

令和3年度 福祉教育推進校

【活動パネル展】

○期間 令和4年3月31日まで

○場所 総合福祉会館(〒313-0041 稲木町 33)



市内全小中学校（19校）のボランティア・福祉活動をまとめた作品を展示しております。

※各校の活動パネルは、常陸太田市社会協議会ホームページでも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。 <社協 HP アドレス> <https://www.ho-shakyo.jp/>

令和3年度

福祉教育推進校



【活動パネル展】

ボランティア活動・福祉教育を実施する市内小中学校を福祉教育推進校とし、児童・生徒の地域福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動の実践、社会参加の精神を養うことを目的に、各校の活動を支援しています。

子どもたちの生き生きとした表情と各学校独自の活動の様子をご覧ください。



- | | | |
|---------|----------|---------|
| ◆太田小学校 | ◆金砂郷小学校 | ◆太田中学校 |
| ◆機初小学校 | ◆郡戸小学校 | ◆峰山中学校 |
| ◆西小沢小学校 | ◆久米小学校 | ◆瑞竜中学校 |
| ◆幸久小学校 | ◆水府小・中学校 | ◆世矢中学校 |
| ◆佐竹小学校 | ◆里美小・中学校 | ◆金砂郷中学校 |
| ◆誉田小学校 | | |
| ◆世矢小学校 | | |



- 主 催 -
社会福祉法人常陸太田市社会福祉協議会



太田小学校

福祉活動報告

福祉体験

(高齢者・車いす・アイマスク)



自分が見えない
と音が見えない
からかいたい人が
たくさんあつた
です。

自分がみえた人
といふとあらうとき
には、声をやさしくかけ
てあける大きさが、なり
ました。



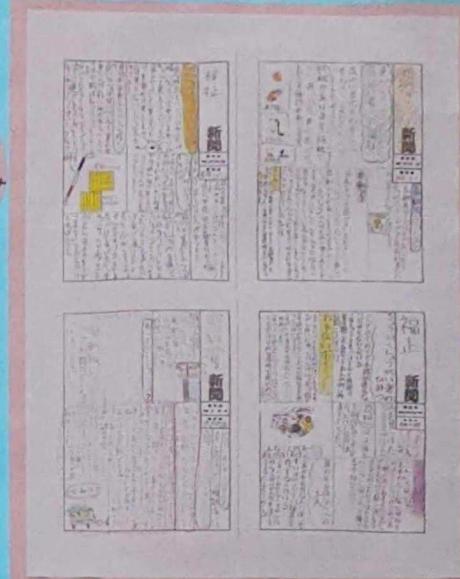
高齢者
の人は自分が
見えないとい
いました。

高齢者か
まへりたい
がかけたいと思
います。



車いすの
人は、さかやく
たりがたい人
だなと思いました。

調べたことを
新聞にまし
ました。



オンライン盲導犬キャラバン



ユーザーには、
あいさつをするだけ
でも手助けになること
が分かりました。

もうどう犬を
訓練している人たち
は、ユーザーが生き
やすいようにがんば
っているんだな
と思いました。



もうどう犬は
自然地にたどりつく
ことをうながすためにね、お
よこしてしまって、ユーザーにまつ
わめてうごきやすがりにな
りました。



赤い羽根募金



あいさつ運動



わたしたちのボランティア活動

【目標】

地域の人々との交流などを通じて、人は助け合って生きていることを理解し、募金活動など自分たちができるボランティア活動に積極的に取り組むことができる。

常陸太田市立機初小学校



あいさつ運動



毎月の週の初めに、各クラスをまわって、あいさつ運動をしています。給食の時間には、一番元気にあいさつをしたクラスを放送で発表しています。みんな元気にあいさつをしてくれると、一日が気持ちよくはじまり、とてもうれしいです。

募金活動



赤い羽根募金の活動では、**15300円**が集まりました。委員会では、放送などで募金を呼びかけました。みんなが助いの心をもってもらえるよう、活動していきたいです。



つ
な
が
る
輪

ごみ拾い



ゴミ拾いは、毎週月曜日に行ってます。校庭には、いろいろなゴミが落ちています。マスクやお菓子のごみなどいろいろな物が多いです。みんなにきれいな学校で生活してほしいと思い、はじめました。みんながきれいな学校を意識して生活してほしいです。

高齢者の方々へ プレゼント作り



私たちは、四季の丘の方々にカレンダーやランチョンマットを作りました。カレンダーでは、パソコンで日付やイラストを入れて作りました。ランチョンマットは、ミシンでぬいました。

高齢者の方に長生きしてほしい、という気持ちをこめて作りました。

手話体験



(感想)

手話体験をとおして、聴覚に障害のある人にしかできない事や自分たちよりも上手にできることなどがあることがわかりました。難しい手話をありましたでしたが、実際にやってみるとおもしろかったです。生活中で使ってみたいと思いました。

つながる思い 西小沢小

~149年間ありがとう・ここから未来へ!!~

令和3年度

目標

- 1 みんなが幸せに生きる社会を築こうとする意欲と態度を育てる。
- 2 教育活動全体を通して、思いやりと助け合いの心を育てる人権尊重の教育、福祉教育を児童の発達段階や地域の実情に即して計画的に推進する。



点字体験学習

六つの点の組み合わせで、いろいろな読み方があります。
さることが分かりました。
また自動販売機やトイレなど、身近な所にたくさんありました。



クリーン作戦

クリーンさんで、わたしは、おちあいほうめんいいきました。おちあいほうめんほりかがすくなく、きれいなまちでした。きれいなまちにしたいです。1年

ぼくはおか田さわ目のごみをひろいに行きました。どうろにはおみせのレントやペットボトルのフタがありました。ちう車を走るスペースにはばいあが丑た。これからはごみを残さないでいいよ。2年

落合をさして、あまりごみはないと思ったら、たはこしあクロもえうごみーなと草むらにたくさん落ちていました。それを拾いたら、ごみでいっぱいになりました。今はゴミバッカを使うことで、ごみを出さないことがよくひきかれていました。わたしたちからできることをしたいです。5年

盲導犬についての学習

もううだは、1時間くらいで、えきやせあおいてる間も1度も迷っておらずしてんたいなと思いました。それから、ぬいぐるみにくぎでしりぞいでいたのを見たときもと思いました。

3年



高齢者疑似体験

高齢者擬似体験をしてみた。高齢者疑似体験をしてみると、歩こうとしてもいかずかずられかくてうまく歩けませんでした。階段をのぼるのはもとより大変でした。高齢者の人は、体を自由に動かせなくて大変だということが分かりました。

6年



手話体験学習

手話体験で、さや指の大字や歌などの表し方を教えてもらいました。歌は、体でも表現しました。はじめて来たたこじも津山。あて勉強になりました。

4年



OK

ピュア里川との交流



あいさつ運動



みんなで大切「うれしい」顔で伝わるかな

(花)はひらのうの手を動かすんだ!



声をよくおこさいます!」の声が、みんなをさわがしい感じに

幸久小学校 ボランティア活動

令和3年度

目標 体験的な活動を通して、自他ともに大切にすることの必要性を知り、思いやりや助け合いの心を育てる。

感謝の気持ちを伝えよう



4年生は「幸久小ありがとうの会」で「クイズ」をしました。みんなが幸久小のことをよく知っていたので正解が多かったです。幸久小たくさん思いがけました。

ぼくたちは「幸久小ありがとうの会」で幸久小の歴史についてしゃかいました。校章、校舎、校歌について、グループごとに調べたことを発表しました。

閉校してしまった幸久小に、地元の人たちといつしょに、感謝のメッセージを書いて、体育館にかけました。148年間の思い出をさまでまな人たちがぶり返していました。

キャンドルナイト



キャンドルナイトの準備では、色水の入ったペットボトルをみんなで並べました。最後のキャンドルナイトがすてきな思い出になるように、PTAの方と一緒に協力して活動しました。

西山研修所の方や、お父さんが、火おこしのしかたを教えてくれました。火おこしは大変でしたが、やっとできた火種でキャンドルの火をつけたときは、とてもうれしかったです。



たてわり班代表者がたいまつをもって、公民館長さんに火をもらいました。たまつでキャンドルに火をともしました。たてわり班の6年生は交代で火をとしました。

わたしたちは、毎年夏休みにキャンドルナイトをします。PTAの方たちが中心となり、みんなで準備をします。今年は最後なので幸久小に感謝の気持ちを伝えました。

美化活動



環境委員会では、毎年、河合駅に花を植えています。今年も、マリーゴールドとアゲラタムを植えました。河合駅を利用する地域の方々に、きれいな花を見てもらえてうれしかったです。

あいさつ運動



朝、正門の前で、たてわり班ごとにあいさつ運動を行っています。元気な挨拶をすることが、一日を始めると、元気になります。あいさつを続けたいです。

佐竹つ子の

ボランティア活動

常陸太田市立佐竹小学校

目標

福祉体験を通して、福祉についての理解と関心を深め、ボランティア活動から思いやりの心や福祉にかかわる実践力をはぐくむ。

校内美化活動



愛校作業をすると自分たちの花壇やグラウンドがきれいになるのでうれしいです。

自分たちで使う学校は、きれいに、大切に使いたいと思いました。

緑の羽根募金



自分がほ金したお金で自然がふえたたりすることもいいと思います。

赤い羽根募金



わたしのほ金で助かる人がいることを知り、これからもほ金しようと思います。

車いす体験



アイマスク体験



手話教室



すにすわる時声をかけてもらったりもたれを教えてでもすわりやすかったです

せまい道を行く時に声をかけてもらいたい道を通ってもらえたと安全だと知りました。

車いすに来るとだんさをこえるのがむずかしくてがむいた時にわいことが分かりました。

車いす体験をして何といかなりて上に上げられるとこめりなど声をかけられるとこわくよかったです。

手話体験を通して手話ソングやあいさつの仕方は覚えました。

ひまわりの東の一一番かうようになりました。

手話ソラマサをしにいきました。手話がわかる人に手話を教わったことがあります。

かいだんやせまい道を通り声をかけられる時は安心しました。

車いすのそうじ方法やしくみがよく分かったのでうれしかったです。

車いすに乗ってみたらこわかったです。声だけでは安心することができました。

手話教室をやって、身近な手話がでるようになりました。

手話教室をじの間こそかほんにかうことかが分りました。

だんさを上りたたり下りたりする時、相手の声よりもしても、転びそこわかったです。

最初はこわかったけど声をかけられたら、こわさがなくなって安心して歩くことができました。

車いすのすわりかたやあしのせかたなどができるよかったです。

声かけた乗、こわい時にこわいときの時をなめに食べたあらで声かけが分りました。

手話を覚えるのは大変でしたがたくさん遊びました。

手言語は言葉がしゃのと同じで手で会話をしていることががました。

誉田小

福祉活動

活動のねらい



いろいろな福祉体験をしたり、常陸太田特別支援学校の友達と交流したりすることで、相手のこと理解し、思いやり気持ちをもつ。

盲導犬についての講話



村上さんとギルかい。歩いているのを見て、ギルか村上さんのことききちんとう導いていたので「盲導犬は歩行者を安全にうう導できることが分かりました。

じじ語ではゆっくり歩いてほしいときは、「スロー」といい、早く歩きたいときは「ゴー」と言うことと、じじ語は約27種類あることが分かりました。

これからは、目の不自由な人を見かけたら、声をかけたり、信号の色を伝えてあげたり、荷物を持っていたら持ってあげたりしたいです。

点字体験



点字の福祉体験で、点字をうつときは点筆を使うことが分かりました。点字はカタカナでうつことや、ライトブレーラーでパソコンのキーボードをうつときみたいに点字かうつると分かりました。

目が不自由でも、私達と同じくらいしていると分かりました。

これから、点字を使って目が不自由な人のために点字をうつたいです。そのため五十音をおぼえたいです。

車いす、アイマスク体験



車いす、アイマスクの福祉体験で、車いすでは、体が不自由な人の大変さが分かりました。アイマスクでは、目が見えない人のうう導の仕方が分かりました。

これからは、車いすを使っている人がいたら、声をかけながら、うう導をしてあげたいです。目が不自由な人を見かけたら道案内をしてあげたいです。

手話体験



手話の体験を通して、耳がまた聞こえない人や、聞きにくい人がいることがわかりました。そのほかに手話以外にも筆談などがあることがわかりました。

これからは、耳の不自由な人にあつたら道案内をしてあげたりしたいです。勉強した手話を使って助けてあげたいです。

特別支援学校との交流



特別支援学校の4・5年生との交流では、おたかいDVDを送りました。歌やダンスなどの動画を送ってくれました。誉田の4・5年生も歌の動画を送りました。

クリスマスにネームカードを作り、プレゼントを送りました。「名前を覚えてほしいな」と思いました。

今年は、特別支援学校の4・5年生と会えなかたので、来年の交流会では、会えるといいなと思いました。

人のために今、自分たちのできること —福祉体験を通して—

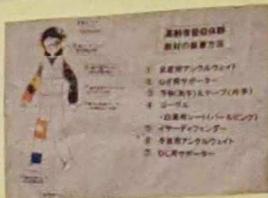
常陸太田市立世矢小学校

《活動目標》

福祉体験や地域交流学習を通して、自分の身のまわりの福祉に目を向け、自分たちができる事を考え、誰もがよりよく生活していこうとする態度を育てる。



高齢者ぎじ体験・車いす体験・アイマスク体験



車いすを押す時には、こつがあると思いました。車いすに乗っている人は、段差があるところや坂道のところを通るときに、不安な気持ちになることが分かりました。ぼくは、段差があるところを動かすことがむずかしかったです。優しく押すようにしたいと思いました。

自分が車いすを押す番で、テッピングレバーをそう作した時に、乗っている人が倒れないか心配になりました。福祉体験で、体の不自由な人の感覚が分かりました。お年寄りの人が困っていたら助けてあげたいし、家族にもお年寄りがいるので支えてあげたいです。

車いすをそう作して、坂の上で回転させることや持ち上げることが、とてもむずかしくて大変でした。人が安心して乗れるようになることを考えて動かそうと思いました。また、重い荷物をもっている高齢者がいたら、荷物をもってあげたいです。

車いすに乗って、人に押してもらった時と自分でこぐときは、全然違いました。人に押してもらったときは、疲れなかつたけれど、自分でこぐときは、うでがとても疲れました。車いすに乗っていて困っている人がいたら、助けてあげたいと思いました。

車いすのそその作がむずかしかったです。車いすを持ち上げたり、折りたたんだりすることも、こつがあってなかなかうまくできませんでした。車いす体験をして、高さがある道を乗りこえることが、とてもむずかしいと思いました。ぼくは、手伝いたい気持ちを強くもちました。

私は、車いすに乗って坂を上ったり下りたりするときに、落ちそうな気がしてとても怖かったです。力が自然に入ってしまいました。目の見えにくい人や耳の聞こえにくい人をみかけて困っていたら、助けてあげたいです。

福祉体験から、高齢者になると「大変なんだな」と分かりました。アイマスクを使って目を見えにくくしたり、耳が聞こえにくくようヘッドホンをつけたりして体験をしました。ぼくは、そばに行って「お手伝いしますか」や「こんにちは」などの声をかけようと思いました。

私は、アイマスク体験をして、目の不自由な人の大きさがよく分かりました。目が見えないと何も見えなくて、怖かったです。人のために今自分ができることは、困っている人がいたら、声をかけて助けてあげたいと思います。

一人で歩いていると、物に当たらないか怖くて不安になりました。目の不自由な人にとて、付きそいの人は「大切なんだな」と思いました。これから体の不自由な人たちを見かけたら、そばにいて声をかけて助けてあげたいと思いました。

私は、アイマスクをして、まっすぐに歩くことや物を見たり、電たくをたたいて計算したりすることがとてもむずかしかったです。困っている人がいたら、声をかけて助けていこうと思いました。

アイマスクをして電たくをたたいた時に、よく見えないので、指で電たくをたたくのがむずかしかったです。高齢者になると時間もかかる、大変になることが分かりました。目の見えづらい人や耳の聞こえにくい人を見かけたら助けてあげたいと思いました。

高齢者になると耳が聞こえにくくなったり、目が見えにくくなったりすることが分かりました。耳が聞こえにくくなると、大事な話が聞こえなくなったり、目が見えにくくなると食品の賞味期限が分からなくなったりします。ぼくは、体の不自由な人がいたら助けてあげたいです。

令和3年度

ボランティア紹介

(1) 活動目標

①児童一人一人に思いやりの心、
助け合いの心、奉仕の心を
育てる。

②実践活動を通して、社会福祉への
理解、関心を高め、思いやり・
助け合い奉仕などの実践力を
育てる。

(2) 活動内容

○水木小との交流会（オンライン）



僕は、水木小の学校紹介を開いてラジオ体操をつくった人が水木小出身だと聞いてとてもびっくりしました。また水木小の校舎は新しくきれいで、みんな毎日で楽しく生活しているのだろうなと思いました。

○うぐいすこども園との交流会

ぼくは、うぐいす子ども園の友だちとおまつりをしました。
ぼくはしゃてきのたんとうをしました。
ぼくはしゃてきのあそび方をようち園せいに教えてあげました。みんなと一緒に楽しめたです。

わたしは、うぐいすこども園の人たちとおまつりをしました。魚つりのかかりでした。さいしょはふ、あんだけ遊び後から楽くなりました。またやってみたいですね。



○フナの放流



私は、浅川へフナの放流に行きました。はじめは、たくさんの中のフナにびっくりしましたが元気に育つようにと気持ちを込めて放流しました。良い体験ができました。

○あいさつ運動

ぼくはいつもあいさつするときには、あいさつされると前にするようになります。大きい声で言うように心がけています。これからも元気に大きな声で自分からあいさつをしていきたいです。



○愛校作業

私は、愛校作業をしました。しょく員室前の花壇にパンジーを植えました。植えた後に、水をやりました。きれいに咲いてくれるといいなと思いました。



思いやりあふれる郡戸小

目 標

学校全体で、えがお週間や募金活動・クリーン作戦などの様々な活動を通して、郡戸小を思いやりあふれる温かい学校にする。

あいさつ運動(金砂郷中と合同)



6月2日～11月9日に、金沢工業中と合同であります
運動会をしました。6月は、外で行いましたが、11月は、
新的の室内で行いました。中学生がいるところが
大きかったです。毎月、たかひり祭りであります。運
動会をしています。6年生の引張を中心にして、しゃくじ
前に一通りに並んで、登校していく友だちにあいさ
をします。

郡戸小の閉校へ向けて(6年)



六年生は、高戸小の開校に向けてたくさんの計画を立てました。校長先生には自分たちのアイデアをたくさんお聞きしました。当時の案に従ってください。
例会では、開校式を完璧なステージで実現しました。地域の方におお家のわらこ麦わら帽子を貰いました。

学校をきれいに(6年ボランティア)



この写真は、6年生が学校のボランティアとして昇降場所を清掃している様子です。みんなの靴じく付いた土をどう落としておこなってましたか? 在でいき方に何かからうしてみてください。センターの周りが、くれています。みんなのために頑張る6年生はピカピカですね。

みどり集会・クリーン作戦



今年は昨年できなかったクリーン作戦を行いました。緑集会では「自然を大切にする」「すくんでごみを捨つ」お互いに助け合ひのヨコのことをうかがいました。クリーン作戦ではまた「わり班ごとに郡戸地区のごみ拾いをしました。児童全員がたくさんのごみを拾うことができました。これからもごみのがい郡戸地区になるようにしていきたいです。

えがお週間・心の標語の募集



今年も、コロナ感染症予防のため、全児童が集まることができませんでした。そのため、1月～7月までお見通しとして、人情文、セーブオブチルドレイン表をえがく週間として、人情文、セーブオブチルドレイン表しました。また、心のひょう語をば集め、お送りしました。

花壇やプランターの苗植え



郡戸小では花だんは学年ごとにフラ
ンターは1人1つずつ苗を植えています。6月には
サルビアとマリーゴールドを植え、11月にはパンジイを
植えました。草刈りや花がらみも全員で行いました。
パンジイは4年生の卒業式と開校式にかかる予定です。
花がすいたときはとてもきれいでした。

熱中症の予防(運動委員会)



7月13日に、熱中症予防のために、運動委員会を中心に映像を見ました。

運動委員会がつくった映像を見ました。最後にはみんなが熱中症のこわさを知りました。

また、熱中症のパンフレットとグラフをもらってきて理解しました。熱中症にならないように気をつけましょう。

緑の羽根・赤い羽根の募金活動



緑の羽根は金と赤い羽根は金をしました。
赤い羽根は「金」の活動では、は、「金をしてくれた人に感謝」といふ言葉とともに、金のバッヂをもらいました。
かんこう部会の副会長の人が、「一年生には、つけてあげました。どの学年ももらおう。たとえ、えが「おにな」っていふ
うれしかったです。

環境・福祉委員会の活動



かんとうふの販賣会では、週に2回、朝
花たんやフラワーの水がけをしています。また、
販賣会の時間には、みんなが苔を植えや
す。こうして、プランターのエクセルをします。夏はマリ
エールドとナルビア。冬はパンジーの花がきれ
いに咲いています。



今年度で、久米小学校という名前はなくなりますが、校名がかわっても、久米地区の歴史や伝統を大切にしながら生活していきます。

ここさゆた

く め こ

心豊かな久米っ子たち

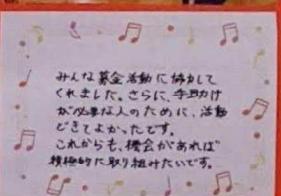
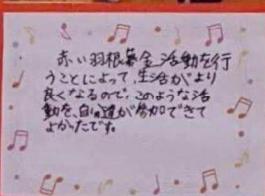


かくどうもくひょう 活動目標

- (1) 体験的な活動を通して「思いやりの心」「感謝する心」
「奉仕の心」等の福祉に対する心情を育てる。
- (2) 地域の人達との交流活動を通して、社会参加の精神を
養う。
- (3) 募金活動を通して自ら行動しようとする態度を育てる。

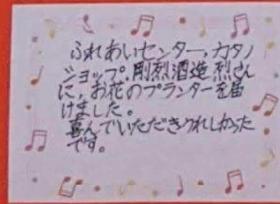
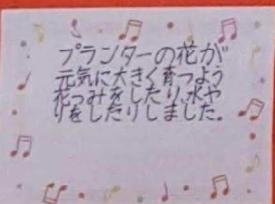
あかはねばせん 赤い羽根募金

みんなの協力
15,600円
集まりました。



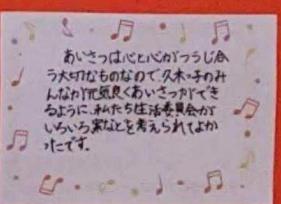
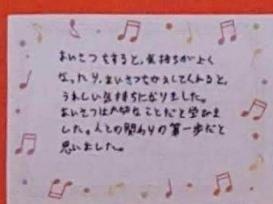
かんきょういいんかい かくどう 環境委員会の活動

環境委員会は、プランターに
草花を育て、久米交流セン
ターにプレゼントしました。



かくどう あいさつ運動

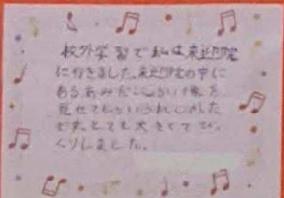
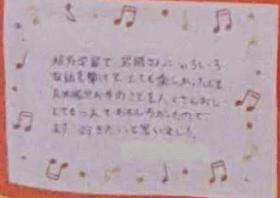
生活委員会は、あいさつ運動
や募金活動を行いました。



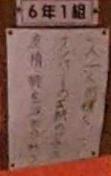
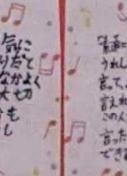
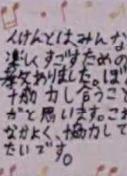
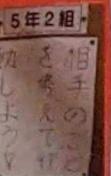
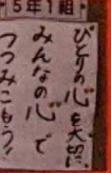
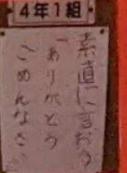
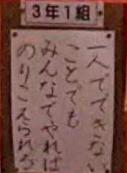
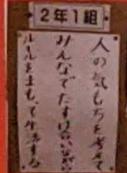
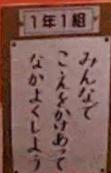
5年生が、総合的な学習の時間に、周辺道路
や来迎院、北宿古墳、常光院、久米城跡を徒
歩で廻り、歴史や伝統、文化を体験しました。

自分だけでなく、友達一人一人を大切にするこ
とで、みんなが気持ちよく生活するための目標
を、年齢ごとに考え、掲示しています。

くめちょう おおさとちょう しせき ある 久米町・大里町の史跡を歩く



じんけんもくひょう 人権目標



令和3年度

福祉活動報告

常陸太田市立水府小学校

活動の目標

地域の方々との交流や、福祉に関する体験活動を通して、高齢者への接し方を考え、相手を思いやる態度を育み、社会福祉に貢献する。

～高齢者への理解を深めて、私たちにできることを考えよう！～

高齡者疑似體驗



車いす体験



和達は、長いこと暮らしてゐていつまでも同じだ。
そして性別を問ひやう。

長いと感じては居難いが、何よりも何よりも、
子供達が、おじいちゃんなどの所へ帰らでござりし
ないか、おじいちゃんに了せしむるが、思ひやう。
東洋流は、毎日毎日、食事もお風呂も、お出ででござ
まつた。しかし、いつ、彼の腰に、腰痛が、出来てしま
った。腰痛といひやうで、腰を抱えていた。

長いと感じては居難いが、何よりも何よりも、

認知症サポーター養成講座



認知症サポート食育講座
ではほくはん認知症の方々は、記
おくに残っていた内容が消え
しまうことが分かりました。他にも、
考えるスピードがおそくなりたり、計
画を立てられず道具の使い方
が分からなくなったりなども分
かりました。このことからほくはん
認知症の方々に、やさしく導入し
てあげておかけたいと思いつた

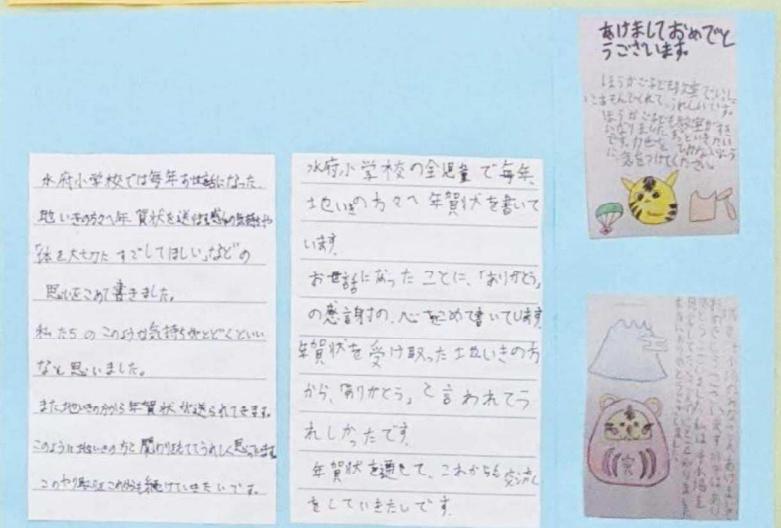
～地域の方々との関わりを大切にしよう！～

特別養護老人ホーム 「誠信園」との交流



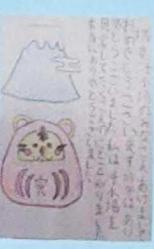
コロナのまゝになりました。年内と今年の春場所で、
後半場所での足りる金額が少なくて少し困りました。
しかし、運営陣の方々との対話を大切にしたいと
思い、今年は、水舟小の東ひでこさんと一緒にアゲハ
を種類別に仕分けました。これまでの経験から、年少者や大人
とともに運営していくと、運営も楽になります。大きめのアゲハ
ハナヒメを運搬することを実験しました。私は旗の面の方向性に
自分たちアゲハ組員でいることをやめないといふことで
最も大変な事は、手足だけ分離されたままになります。

お世話になった方々と
「年賀状」での交流



あけましておめでと
うございます。

もうかがひでむすんで
まんじゅうでいいです。
もうがごはんを教室か
ひじょうで、ちうひいき
で、かわせいかがりよう
気をつけてください。



里美小学校 ボランティア活動

児童を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動の実践、社会連帯精神並びに自己の確立と豊かな人間性を養成するため、児童を通じて家庭及び地域社会の啓発を図る。

令和3年度の取り組み

福祉体験

・高齢者疑似体験 ・手話、点字、車イス体験



車いすは友達に押し
てもらう時は快適で
す。



高齢者疑似体験の
準備を手伝ってもら
っています。



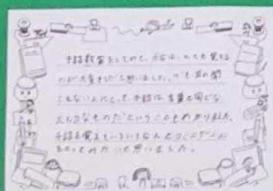
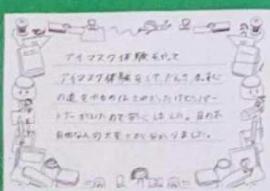
手も足も動かしにく
い、まわりが見え
づらい。



見えない状況での
階段は本当にこわい
です。



車いすで段差の上り
下りは本当に大変で
す。



植物栽培

花壇やプランターに花を植
えました。きれいに育きました。



植物の収穫で元気になりました。
うれしかったです。

人権集会

やさしく発言で議論をよ
うにしたいと考えました。



人権集会でみんなで話し合
って意見を出しました。気持ち
がいいなって思いました。

緑の羽根 赤い羽根 募金



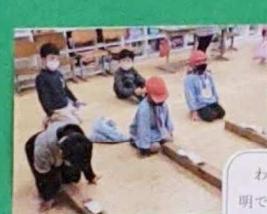
公園や公共施設に
いっせいに旗を立てるよう
に気持ちをこめてお金も貯
いています。もっと集めたいです。

空き缶回収



たくさん集めたので、学校を
まわして回りました。

公園や公共施設に
いっせいに旗を立てるよう
に気持ちをこめてお金も貯
いています。もっと集めたいです。



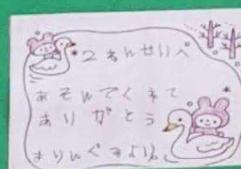
こども園との交流会

わくわくランドを開いて、こども園の友だちを
しょうたいしまして、1、2年生が作ったゲームで遊びました。

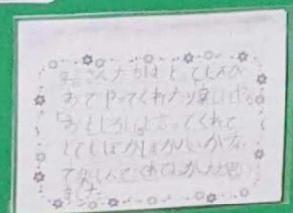
こども園の人たち
は、ゲームを楽しん
てくれました。



わかりやすく、説
明できるか心配だっ
たけど、できてうれ
しくなりました。



これからたくさん
仲良く遊ぼうね。



太田中学校

ボランティア

活動内容

- ・廃品回収
- ・手作りエプロン
- ・赤い羽根募金
- ・黄色のお花プロジェクト
- ・熱海市への募金

廃品回収

今年は5回行いました。集まった回り又物は、被災地への支援をしたり土のう袋などを作ったりできるように協力しています。

集めている物は、アルミ缶、新聞紙、チラシ、ダンボール、またプリタブも集め市に寄付します。回収率100%を目指して活動先輩たちからもしています。伝統をこれからも受けついでいきたいです。

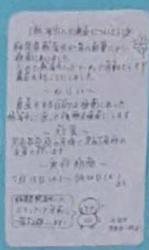
福祉ボランティア

ビニール袋を使たエプロンづくりをしました。社会福祉協議会を通して、高齢者の方々の福祉施設で使っていただけるようバを込めてつくりました。

熱海市への募金

豪雨の影響で被害にあった熱海市に復興のための募金をしました。被災した地域へ思いを寄せ自分たちに何かできることはないか考えました。

生徒会本部の生徒と交流福祉委員会の生徒が中止となり手分けを行いました。

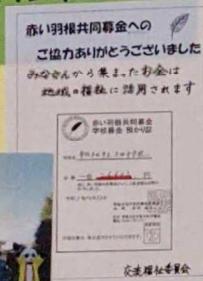


赤い羽根募金

（募金の使い道）

- ・高齢者福祉活動
- ・児童、青少年福祉活動
- ・障がい者福祉活動など

集めたお金は、助け合い、支え合って安心して生活できる地域をつくるために活用されていると知りました。



活動目標

- （た）くさん
- （す）んで
- （け）いけんをつみ
- （あ）りか"とうを
- （い）っぱいにしよう！

黄色のお花プロジェクト

～コロナ禍でお世話をされている方へ～

コロナ禍の中、私たちや地域のためにお仕事をしてくださっている施設に感謝の気持ちを込めてお花を送ることにしました。思いが届くよう一生懸命育てました。

まとめ

私達交流福祉委員会ではたすけあいの言葉を目標に活動してきました。募金や廃品回収の際は各クラスごとに呼びかけをして、回収率100%を目指して活動しました。これからも廃品回収などの意味を考えて活動していきたいと思います。

山峯

山

中

学

校

プルタブ回収

福祉委員会では、クラスに呼びかけ、合計4.5kgのプルタブを集めることができました。

プルタブ回収の協力により、ひとりでも多くの人の命が助かるといいと思います。

目標

実践的、体験的な活動を行うことで社会貢献の意識の高揚を図り、社会の一員としての自覚をもち、協力してよりよい社会を築いていこうとする態度を育てる。



クリスマスリース作り

12/10 12/13 12/14 の昼休みに、クリスマスリースを作成しました。

福祉委員が呼びかけてたくさんの生徒が作成し、約50個のリースができ上りました。手作りのリースを見てたくさんの方が喜んでくれるといいなと思いました。



赤い羽根共同募金

10/11, 10/12, 10/13 の朝、3日間行いました。短い期間でしたが、今年は、8131円集めることができました。このお金を、いろいろなことに役立ててほしいと思いました。



あいさつ運動

毎月1週間の朝に昇校口や校門で1年～2年、委員会であいさつ運動を行いました。あいさつ運動を積極的に行っていると、あいさつを元気よく返してくれる生徒が多くなりました。全生徒が元気よくあいさつしてくれるといいなと思います。



ペットボトルキャップ回収

私たちは毎年、ペットボトルキャップ回収を行っています。今年も例年と同じように全学年で月一回、回収を行いました。年間で107kgものペットボトルキャップを集めることができました。色々な人の協力があったからこそできたことだと思います。皆で集めたペットボトルキャップで、少しでも世の中の役に立てたらいいなと思います。

瑞竜中学校

目 標

人の関わりを持ち、
自然を大切にする。



赤羽根募金

瑞竜中学校では毎年赤い羽根募金を行っています。ボランティア委員会が毎朝集金をし、今年もたくさんの募金が集まりました。これからも羽根募金を通して、福祉活動や災害支援に関わっていきたいです。



花の苗植え

前件の旨が付し、マーリー・ルードレインナーと署名致しました。若者が本種を取扱ふ事は大変お手数ですが、御理解とご容赦下さい。一概に厳しく規制せざるを得ぬ事実に鑑みた上、わたくしも、本種を保護する方針といたしまして、多少の心配は御座りますが、本業者の方々へ、本種を販売する際には、何うかとおもいます。



機初小で
あいさつ運動

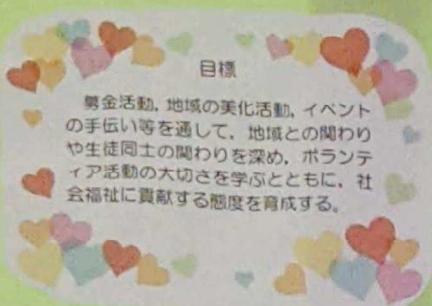
無事小学校へ通う事が出来ました。機動小学校の計画など
あれども、車の大型車が頻繁に通ることで失敗しました。
久々に車に乗る子供が多くなって、それから失敗です。
車は、運転免許を取ったあとで乗車する用意でした。
車、あくまでも運転免許です！



誉田小で
あいさつ運動

農田小で、あいさつ運動をしました。小学生は、かく
笑顔があいさつしてくれてとても嬉しかったです。
和やかな気分をもたらしました!! あいさつ大成功を
知れて感動になりました!! 久しぶりに
食事も子守りで嬉しかったです。

金沙郷中福祉活動報告



目標

募金活動、地域の美化活動、イベントの手伝い等を通して、地域との関わりや生徒同士の関わりを深め、ボランティア活動の大切さを学ぶとともに、社会福祉に貢献する態度を育成する。

地域清掃 ボランティア



福祉委員会では毎年赤い羽根共同募金を校内で行っています。朝の登校時間に、福祉委員のメンバーで集まり、羽根募金の協力について呼びかけを行った結果、146人の協力により、合計1683円が集まりました。この募金は市内の様々な福祉活動に使われます。赤い羽根募金活動を行って、 CSRの大切さというものがよく分かりました。



校外清掃活動

活動内容は、落ち葉掃きです。ほうき等で落ち葉を集め、町を綺麗にしました。遠の町が前よりも美しくなりました。外清掃を行って、みんなで協力し合い、今まで掃くことができました。の人達も笑顔で喜んでくれたので、後もこの校外清掃を生かして、よりよい生活にしていきたいと思いました。



福祉委員会では、毎年ボランティアを募集し来迎院の清掃を行っています。今年度はたくさんの方々が応募があり、ため、人数を絞り、この活動となりました。境内の落ち葉掃きや、お堂の中の水拭きなどを協力しながら行いました。また、お堂の中では、普段は見れない仏像を見させていただき、大変貴重な経験となりました。来迎院を後世に残すために来年以降も行っていきたいです。



プルタブ収集



活動内容は呼びかけです。朝の時間にプルタブの収集を呼びかけます。毎日集めたプルタブの集計を行って、どのくらい集めたか分かるよう透明の容器に入れています。この活動を通して予想以上に、タブが集まってみんなで協力することの大さが分かりました。これからも地域の大役に立てるよう頑張りたいです。



令和3年度水府中学校

ボランティア活動隊結果報告書

ボランティア活動を通して、他人を思いやる心、互いを認め合い、共に生きていく態度、自他の生命や人権を尊重する精神を養う

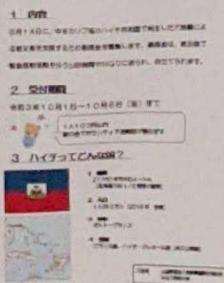
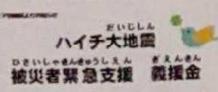
赤い羽根募金



活動内容と感想

10月26日(月)～10月28(水)に赤い羽根募金を行いました。中学3年生を中心としたグレープに分かれて呼びかけをしました。3日間で3,900円の募金をあつめることができました。
少しでも協力できてよかったです。(海野那奈)
たくさん募金をしてくめて、思いやりを感じました。(曾澤英葉)
地域のことに貢献できてよかったです。(井上和也)
地域のためになれる募金ができてよかったです(鈴木純)
(他の地域の復興のために募金をすることができて良かったです)(あ)

ハイチ大地震被災者支援



活動内容と感想

10月1日～10月8日にハイチ大地震被災者緊急支援義援金の呼びかけを行いました。8月14日にハイチ共和国で発生した大地震による被災者支援のための義援金です。各クラスに募金箱を設置し協力をお願いしました。中学1年～3年合わせて2,887円を寄付できました。
少しでも協力できて良かったです。(井坂心寧)
募金に協力できてよかったです。早くハイチの人たちがこの生活に戻ることを願っています。(黒田啓祐)

使用済み切手回収



220枚集まりました!

活動内容と感想

使用済み切手回収 ボランティア3年2回実施しました。1回目は、5月24日～6月4日にかけ、161枚の切手を集めることができました。2回目は、11月8日～12月3日にかけて、59枚の切手を集めることができました。合計220枚の切手をあつめることができました。国。いろいろな人に、切手を貢献することができます。世界中の人们が、この切手で助かるこことを願っています。

あいさつ運動

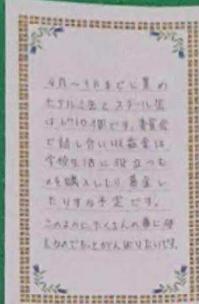
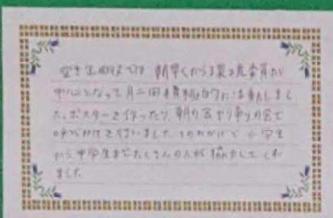


活動内容と感想

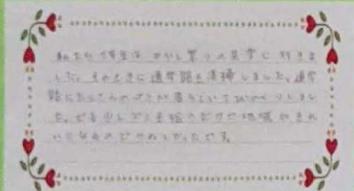
毎週月曜日の朝に、あいさつ運動を行っています。時間の中で活動するきっかけでした。また、大きな声で意識して、あいさつしました。元気なあいさつ返ってくる声やがいを感じることができました。(増子宜)
少しでもあいさつしてくれる人が増えてよかったです。たくさんあいさつをしてくれたうれしかったです(鈴原)

里美中学校ボランティア活動

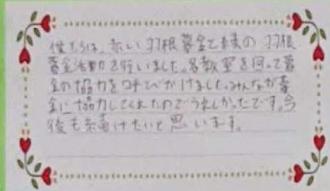
空き缶回収



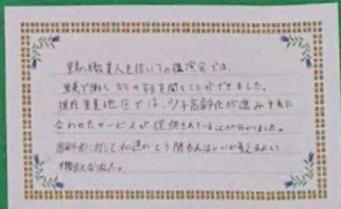
地域清掃活動



募金活動



地域の福祉について



交流活動

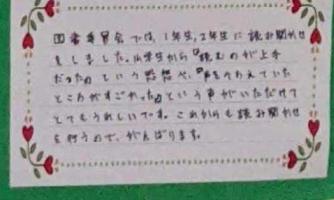
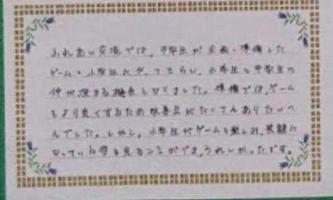
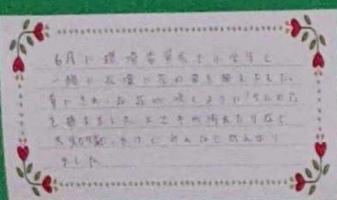
花の苗植え



ふれあい交流



読み聞かせ



活動の目標

- 人とふれあい、お互いを認め合ったり、助け合ったりすることで、ボランティア精神を高める。
- ボランティア活動を通して、生命の大切さを知り、相手の立場になって考えたり、共感したりできる温かい心を育てる。